

国家戦略特区

「国際医療学園都市構想」について

～「世界に打って出る」「世界を取り込む」都市の実現へ向けて～

第1回 東京圏 国家戦略特別区域会議 提出資料

平成26年10月1日



学校法人 国際医療福祉大学



国際医療福祉大学について

国際医療福祉大学グループの概要

国際医療福祉大学は、栃木県大田原市に1995年4月、多彩な医療福祉専門職の育成とその地位向上を目指し、病気や障害を持つ人も健常な人も、お互いを認め合い、尊重し合う「共に生きる社会」の実現を建学の精神とし、日本で最初の医療福祉の総合大学として開学しました。現在は6学部16学科で約6,300名の学生が学んでいます。

本学の学長は、元慶應義塾大学医学部長・病院長で、万国外科学会会長、国際消化器外科学会会長などを歴任した北島政樹先生が努めており、また総長は、元東京大学医学部長で、日本内科学会理事長、日本医学会総会会長などを歴任した矢崎義雄先生が努めております。

1999年4月に開設した大学院は、現在、日本学術会議会長を務めた金澤一郎先生が大学院長を務めており、東京青山キャンパスを中心に全6キャンパスで600人が在籍。保健医療系の大学院としては日本最大規模を誇っています。また、各キャンパスを同時双方向遠隔授業システムで結んでおり、キャンパス間で講義やディスカッションが行われています。

「人間中心の大学」「社会に開かれた大学」「国際性を目指した大学」という3つの基本理念と、「人格形成」「専門性」「学際性」「情報科学技術」「国際性」「自由な発想」「新しい大学運営」の7つの教育理念のもと、優れた人間性を兼ね備え「チーム医療・チームケア」に貢献できる専門性の高い人材教育を行っており、例年全国トップクラスの国家試験合格率と就職率を誇っています。また、大学・大学院全体で16,000人を超える卒業生が医療福祉の現場で活躍しています。

国際医療福祉大学は、医療法人社団高邦会(九州)や医療法人財団順和会(東京)などとともに、「国際医療福祉大学・高邦会グループ」を形成しており、現在、全国に約40の教育機関・医療福祉施設を擁し、職員数は全体で約8,500人(うち医師は約800人)にのびます。医療福祉分野で10病院・2診療所・15福祉施設を運営し、ベッド数は約3,450床(医療約2,600床・福祉約850床)に及んでいます。

4つの附属病院に加え、大学の臨床医学研究センターという位置づけにある東京港区の山王病院、山王メディカルセンター、千葉県市川市の化学療法研究所附属病院、福岡市内の福岡山王病院には、我が国でトップクラスの医師が多数在籍しており、さまざまな医療福祉のニーズに対応できる体制を整えております。また、個室を中心にアメニティを充実させ、全診療科をバランスよく揃えた総合的な診療を行っている山王病院は、外国語対応が可能なアテンダントスタッフを多数配置するなど、都心部の外国人患者の受入実績も豊富にあります。

国家戦略特区「国際医療学園都市構想」の概要

国際医療福祉大学は成田市と共同で、「大学・大学院教育」及び「医療」をキーワードに、国の経済成長に寄与する国家戦略特区「国際医療学園都市構想」を提案しております。

国際医療学園都市構想

千葉県成田市

大学・大学院(新設)



- ・医学部新設を含む3学部6学科開設
- ・医学部に地域医療および国際医療の担い手を育成
- ・海外医療制度、国際医療援助などの「海外医療システム」、「感染制御」等をテーマとして大学院設置

国際性のある病院(新設)



- ・成田市に600床規模で新設
- ・東京オリンピック・パラリンピックに対応し、世界に通用する病院
- ・最先端医療の提供
- ・海外医療機関等と連携、日本の優れた医療技術を海外に展開

介護施設(新設)



- ・一定数以上の外国人介護スタッフ配置
- ・大学、病院と共同で、介護ロボット等の研究開発

トレーニングセンター(新設)



- ・医療従事者が高度医療機器の操作方法等を訓練するセンターを医療産業等と連携し設置
- ・海外からも対象者を受入れ実施

東京都 港区

病院(既設)



- ・国際医療福祉大学 三田病院、グループの山王病院、山王メディカルセンターは、保険外併用療養の拡充、外国医師による外国人への診察等を実施
- ・東京オリンピック・パラリンピックに対応

海外

医療援助



海外医療関連従事者

人材育成



海外大学

交流



海外病院

受入れ

輸出



海外トレーニングセンター

国家戦略特区「国際医療学園都市構想」の特徴

① 医学部における国際的医療人材の育成

- ・ 既成のカリキュラムにとらわれない、専門領域にとらわれない、臨床実習を重視した総合教育の実施
- ・ 海外医療援助など国際舞台で活躍できるよう、総合診療技術、感染症対策等の教育
- ・ 千葉県や成田市などにおける地域医療の担い手を育成
- ・ 世界最大規模のシミュレーションセンター設置
- ・ 一般家庭からでも進学可能な学費水準の設定

② 大学院レベルでの資格保有者に対する高度な医学教育

- ・ 新興国のメディカルスタッフを対象に、わが国の優れた医療技術や病院経営ノウハウ等を習得するプログラムを提供
「日本型医療」を導入した出身国で活躍できる人材の育成
- ・ 各国の医療制度から文化までを幅広く情報収集・集積、研究を行う「国際医療協力センター」(仮称)を設置

③ 産学連携による医療機器の研究開発と大規模研修センターの設置による日本の医療機器輸出増大の支援

- ・ 医療機器メーカー等と協力し、高度医療機器の共同開発や医療・介護用ロボット技術の研究開発拠点を整備
- ・ 企業との共同運営による「トレーニングセンター」(仮称)を設置、海外からも対象者を受入れ、日本の医療システムを習得した人材を養成

④ 世界に通用する国際的な病院

- ・ 東京オリンピック・パラリンピックに対応できる世界に通用する病院(外国語対応、アメニティ、宗教関連施設等)
- ・ 世界に通用する最先端医療を実施(最先端の高度医療機器、世界的に有名な外国人医師の招聘等)
- ・ 保険外併用療法の拡大等を実施し、海外で実績のある医療技術の活用(ドラッグラグ・デバイスラグの解消)
- ・ 海外医療機関との連携基地として、「国際遠隔診断センター」(仮称)を設置、遠隔での病院診断、放射線診断等を実施